

キャリア教育の充実をめざす皆様へ

近未来教育変革研究所
所長 藤井 秀一

－「キャリア教育『指導力』養成講座」開講の趣旨－

全国に正しい「キャリア教育」を普及せしめるべく、新たに「キャリア教育『指導力』養成講座」を開講する。キャリア支援に対する教師個人の知識・技能を高め、必須のツールを提供していく趣旨である。本講座の受講後は、ぜひ学校を、地域を、国を牽引できる教師としてご活躍いただきたい。

今世紀に入ってから、政府は「キャリア教育」の強化に着手した。しかしその内容はまだ混沌としたものであり、用語の定義や活動分野の切り分けは整理が不十分であったと言わざるを得ない。そのため公教育においては、「キャリア教育」の意味づけや概念・手法・目的についてさまざまな分裂を生み出すこととなってしまった。残念ながらその混乱は、2021年の今もなお、完全な解消に向かっているとは思えない状況である。公立学校ではいまだに「キャリア教育」についての定型化かつ安定化された指導体系が確立されたとは言えない環境となっている。

一方、私立学校においてはさまざまな実効性ある手法が生み出され、着実な成果を創出しているケースが散見される。政府の文書に唯々諾々と従うのではなく、自ら試行錯誤を繰り返して実効性ある取り組みへと発展させてきた成果と言えよう。ただし、当然ながら乗り遅れの学校も数多くあり、私学間における「キャリア教育」の格差はその開きを拡大させ続けていると言わざるを得ない。今後の世相から判断すれば、正しい「キャリア教育」を実践できない私立学校は、淘汰のやむなきに至るであろう。

正しい「キャリア教育」は教育機関の違いによらず、あらゆる学びの場において喫緊の課題である。現状のまま体系整備や手法の確立が遅れば、我が国の将来的な危機へと発展する可能性が極めて高い。国際環境における日本国のプレゼンスは、おそらく極限まで低下してしまうものと思われる。しかるに教育現場を見てみれば、まだまだ正しい「キャリア教育」が実践できる環境とはなっていないのである。これには多数の要因が関わってくるのだが、その要因すら整理しきれていない現実がある。今ここで、そのいくつかを再確認してみよう。

<時代や世相の変化が見えていない問題>

これは教育機関における慢性的かつ固着的な弱点となっている問題である。自分たちの塀の中だけで思考や行動が完結しやすい環境なので仕方のない面もあるが、そうは言われていられない現実もある。どのような見落としがあるのか、以下に列挙する。

- ▽日本社会はすでに人生一社の時代ではなくなっている
- ▽命令に従うだけの指示待ち社員はいらなくなった
- ▽地域産業の危険性を脱し、地場産業の重要性に気付きつつある
- ▽職業教育は学校内で完結できるものではなくなった
- ▽ビジネスの最前線に生きている保護者の要求や不安の変化が見えていない
- ▽学校側がリーマンショックやバブル崩壊以前の職業観を引きずっている

<キャリアとは何かをそもそも理解していない問題>

キャリアとは職務経歴だけを言うのではない。しかし、多くの学校・教師がこの初歩的な知識を有していない現状がある。そのため「キャリア教育」を就職指導と混同してしまっているケースは極めて多い。具体的には以下のような誤りが氾濫していると言えよう。

- ▽自分自身のキャリア開発ができる教師がそもそもいない
- ▽キャリアを職歴のことだと勘違いしている
- ▽就職指導と「キャリア教育」の違いを説明できない
- ▽特定の業種・職種に向けた技能取得しか考えていない
- ▽「体験学習こそキャリア教育のあるべき姿」と誤解している
- ▽教師個人によってキャリア観や指導法にバラツキがみられる
- ▽キャリアプランニングとライフプランニングが結びついていない
- ▽企業や社会が若者に求める要素を熟知できていない

<青少年特有の課題を盛り込んでいない問題>

自身の体験のみに依拠して指導を進めてしまう教師は少なくない。しかし、時代も社会構造も激しく変化する中、過去の、しかもある狭い分野での成功体験は意味をなさなくなりつつある。教師がそうした指導に固執してしまうのは大人側の都合によるのであり、青少年の立場に立った施策が必要である。

- ▽社会人としての資質向上プログラムを持っていない
- ▽「就職試験はマナーが最重要」と誤解している
- ▽自立と自律の向上支援策を持っていない
- ▽職場体験でキャリア観が醸成されると思込んでいる
- ▽生涯学習の観点から指導メソッドに組み込まれていない
- ▽発達段階や精神性の成長に合致しない施策がとられている
- ▽学習内容と職業観との整合性が考慮されていない
- ▽まだ見知らぬ世界に対する学生生徒の不安を読み取れていない
- ▽なぜインターシップが効果的なのか、説明できる教師が校内にいない
- ▽小ざれいな文章のエントリーシートが売れると勘違いしている

ここに挙げた問題点だけではなく、実地においては他にもさまざまな問題が提起されるのではないかと考える。かかる不都合や不条理を如何にして排していくかは重要な取り組みである。これらの解消については政府からも有効な対策や指示はまだ発せられていない。

正しい「キャリア教育」を体現・実践できない学校・教師は、学校種や地域、年齢や経験内容にかかわりなく、いずれは淘汰されていく社会へと変わっていくことであろう。学校・教師の支援を進めながら、その成果として日本中に正しい「キャリア教育」の展開を図るべく、本講座を企画した。

講座の概要を以下に掲げるが、当然、その内容だけで100%正しい「キャリア教育」が構成されるわけではないことに気付いていただきたい。基盤固めの一助としてこの構成を示すこととする。必要に応じて適宜、派生分野の講座も企画していきたい。

キャリア教育『指導力』養成講座
(シラバス概要)

<p>【第1回】 8月1日(日) 14:00-17:00</p>	<p>1. 「就活力テスト<JHP>」体験 まずは自身の就活力をチェックしてみよう 「就活力テスト<JHP>」の効果的な使い方</p> <p>2. 社会と世相の変化を知る 21世紀キャリアの主要条件とは どんな人材が求められるのか 企業はなぜ人を求めるのか</p>
<p>【第2回】 9月5日(日) 14:00-17:00</p>	<p>3. キャリアとは何か 「キャリア」を正しく定義する 「キャリア・ビジョン」を正しく定義する</p> <p>4. 能力開発指導のあり方 「社会人基礎力」の理解と向上策指導法 「職業興味チェックリスト(職業適性検査)」体験と効果的な使い方 「職務遂行能力測定<ASA>」テスト体験と活用法</p>
<p>【第3回】 10月3日(日) 13:30-17:30</p>	<p>5. 自己分析の手法獲得 長所の即断抽出法 キャリアトライアングル活用法 『自分カタログ』作成体験</p>
<p>【第4回】 11月7日(日) 14:00-17:00</p>	<p>6. 効果的な就活マーケティング 『自分カタログ』活用法 マッチングの最適化の仕方 短期退職の危機を回避するコツ</p> <p>7. キャリア・ビジョンを現実化するために メンタルサポートのあり方 マイナス思考の解除指導法 効果的な売り込みを実現する鉄壁の構文 発達障害との向き合い方 人生設計・・・4つの柱</p>
<p>【第5回】 12月5日(日) 13:30-17:30</p>	<p>8. キャリア相談の実技修得 相談の手順の実際 相談における禁止事項 カウンセリングか、コーチングか 実技ロールプレイング 講師による総括評価 キャリア教育「指導力」の総整理 修了認定証授与/修了式</p>
<p>【本講座で使用する教材】</p>	<p>『親子就活マニュアル』(キャリア・ブレン刊) 「就活力テスト<JHP>」(キャリア・ブレン刊) 「職業興味チェックリスト(職業適性検査)」(キャリア・ブレン刊) 「職務遂行能力測定テスト<ASA>」(キャリア・ブレン刊)</p>